

資料1



令和2年度（2020年度） 千葉市下水道事業会計当初予算



令和2年8月28日（金）
令和2年度第1回千葉市下水道事業経営委員会

目次

1 予算の概要

- | | |
|----------------|-----|
| (1) 予算の基本的な考え方 | P.2 |
| (2) 業務の予定量 | P.4 |

2 令和2年度予算

- | | |
|-------------------------|-----|
| (1) 収益的収入・支出 | P.6 |
| (2) 前年度予算との比較【収益的収入・支出】 | P.7 |
| (3) 資本的収入・支出 | P.8 |
| (4) 前年度予算との比較【資本的収入・支出】 | P.9 |

3 予定財務状況

- | | |
|-------------------------|------|
| (1) 経営状況 | P.10 |
| (2) 予定損益計算書 | P.12 |
| (3) 予定貸借対照表（バランスシート） | P.13 |
| (4) 予定キャッシュ・フロー（C F）計算書 | P.14 |

4 令和2年度予算における重点事務事業

- | | |
|---------------|------|
| (1) 重点事務事業の予算 | P.15 |
| (2) 主要事業の予算 | P.16 |



単位未満を四捨五入で表示しているため、合計が一致しない場合があります。

1 予算の概要 (1) 予算の基本的な考え方

【基本的な考え方】

令和2年度は、前年度に引き続き、安全・安心のまちづくりに向け、雨水管渠の整備や下水道施設の耐震化を進めるとともに、快適な暮らしの基盤づくりに向けて、汚水管渠の整備を進め、未普及地域の解消に努めます。

さらに、ストックマネジメントの考えに基づく管渠、処理場及びポンプ場の点検・補修を行い、必要に応じて改築を進めます。また、海域の水質保全のため高度処理施設の整備のほか、発生汚泥のエネルギーの利活用の検討を行います。

経営については、両浄化センターにおいて、引き続き包括的民間委託による維持管理を行うなど、経費の節減と管理の効率化を図り、経営の健全化に努めます。

【主な事業】

(1) 上下水道料金徴収事務 **7億6,767万円**

下水道使用料の徴収事務について千葉県水道局に委託するとともに、千葉県水道局が開発した徴収システムについて、本市分を負担します。

(2) 下水道施設の点検・補修 **3億205万円**

下水道の機能を適正に維持するため、施設の点検・補修などを行います。

(3) 浄化センター等包括的維持管理 29億54万円

浄化センター等の維持管理業務について、包括的民間委託を行います。

(4) 浸水被害の軽減と対策の強化 23億4,000万円

局地的な大雨による浸水被害を軽減するため、雨水管渠の整備を進めるほか、市民による防水板の設置費用の一部を引き続き助成します。

(5) 地震時における下水道機能の確保 26億2,170万円

地震発生時に下水道の機能を確保するため、管渠及び処理場の耐震化を進めます。

(6) スtockマネジメントの推進 44億30万円

下水道の適正な機能を維持するため、施設の改築を進めます。

(7) 海辺の水質保全 17億0,700万円

東京湾の水質保全と良好な水環境を整えるため、高度処理施設の整備を進めます。

(8) 下水道未普及地域の解消 6億0,737万円

快適な市民生活に寄与するため、汚水管渠の整備を進めます。

(9) 下水道における資源・エネルギー循環の形成 2,480万円

下水処理過程から発生する汚泥などをエネルギーとして利活用するための検討を行います。

1 予算の概要 (2) 業務の予定量

令和2年度は、行政区域内人口973,688人に対し、整備区域内人口は 947,838人で、
汚水処理世帯数445,260世帯、年間総処理水量1億2,677万9,125 m^3 （1日平均処理水量
34万7,034 m^3 ）を予定しています。

また、事業計画面積は13,121haで、このうち整備面積は12,296ha 整備率は93.7%
を予定しています。

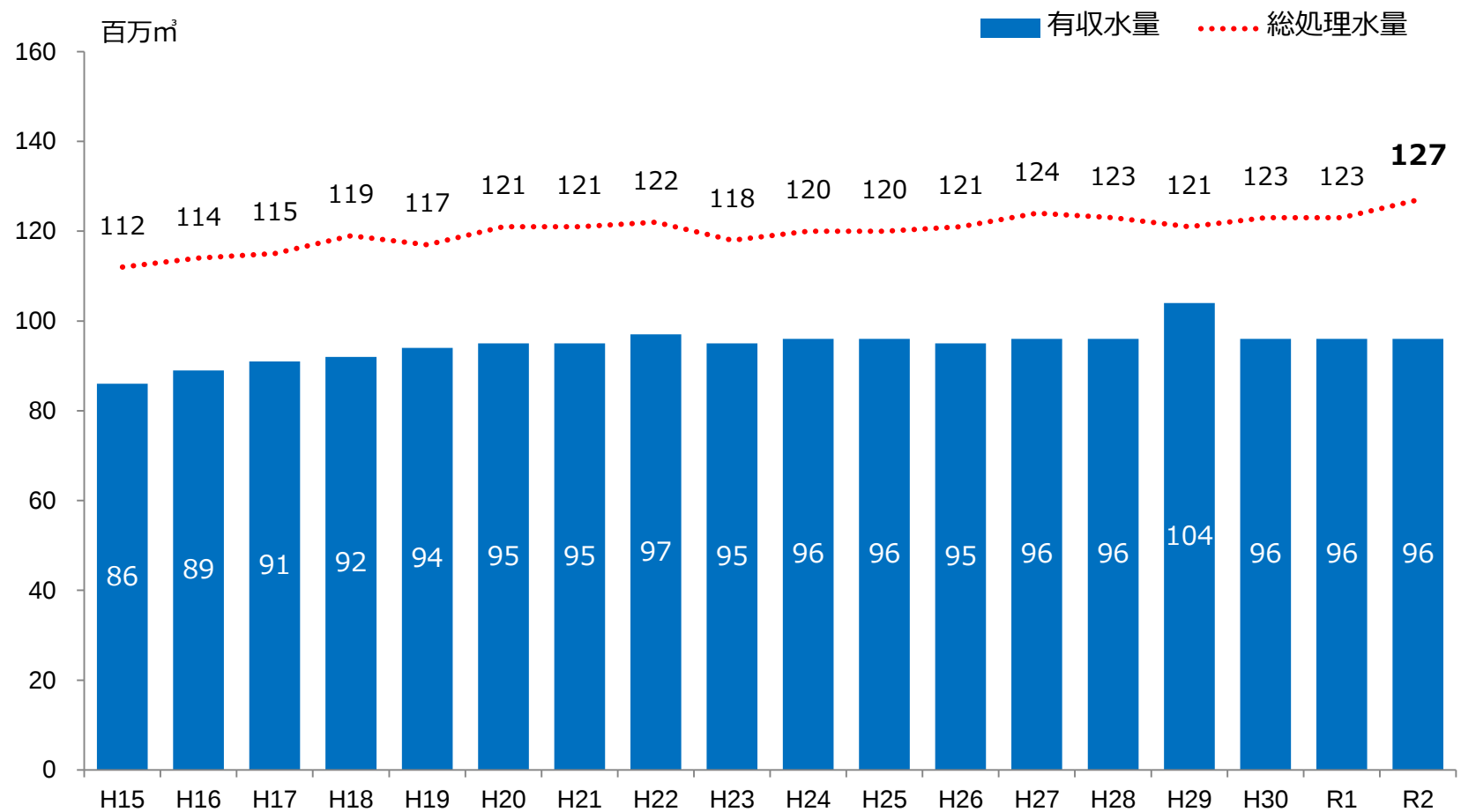
整備区域内人口

万人



R1まで決算値 R2は予算値

1 年度あたり総処理水量・有収水量

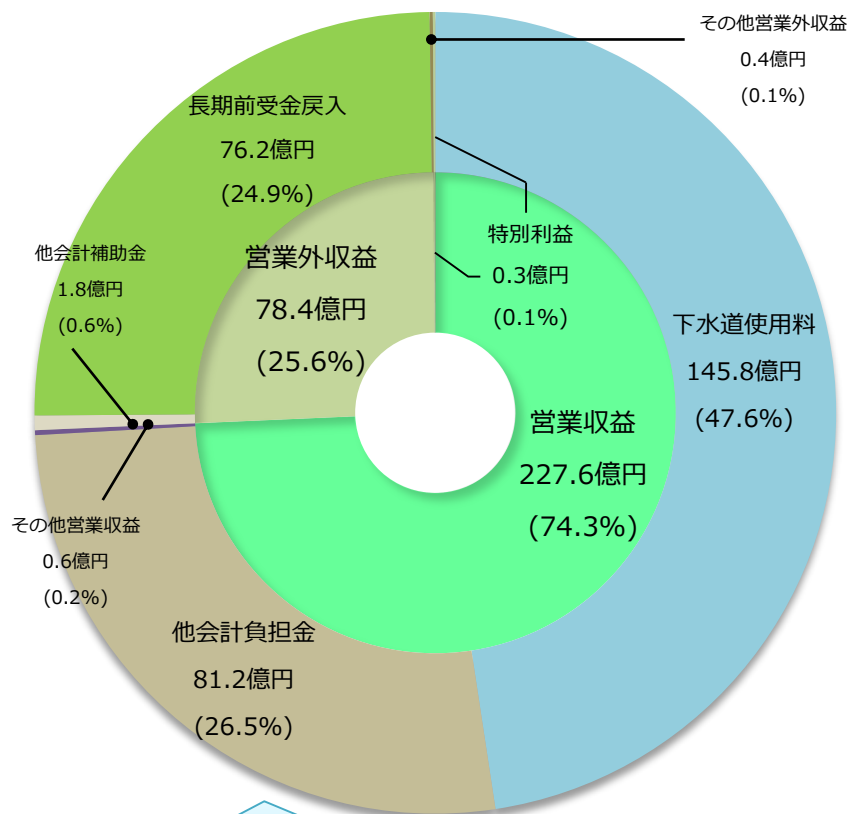


R1まで決算値 R2は予算値

2 令和2年度予算 (1) 収益的収入・支出

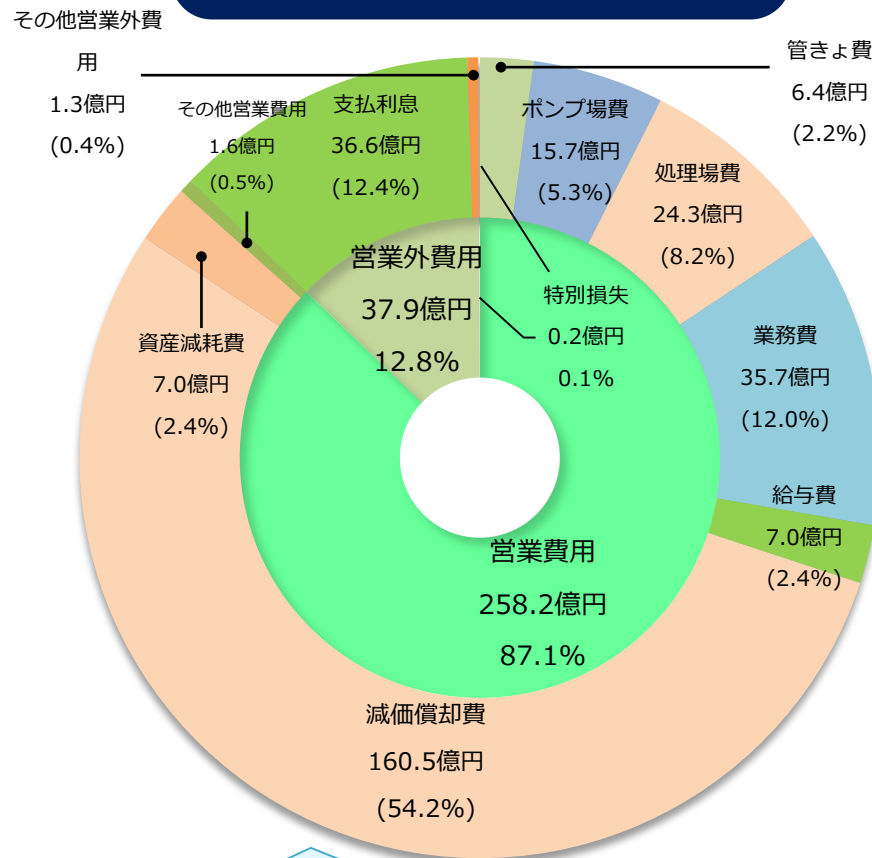
金額は税込み

収益的収入 306.3億円



収益的収入は、下水道使用料などの営業収益227億5,991万円、他会計補助金などの営業外収益78億4,793万円、特別利益が2,526万円、合計306億3,310万円となっています。

収益的支出 296.3億円



収益的支出は、管渠費、ポンプ場費、処理場費などの営業費用258億1,394万円、支払利息などの営業外費用が37億9,107万円、そのほか特別損失などを加え、合計296億2,557万円となっています。

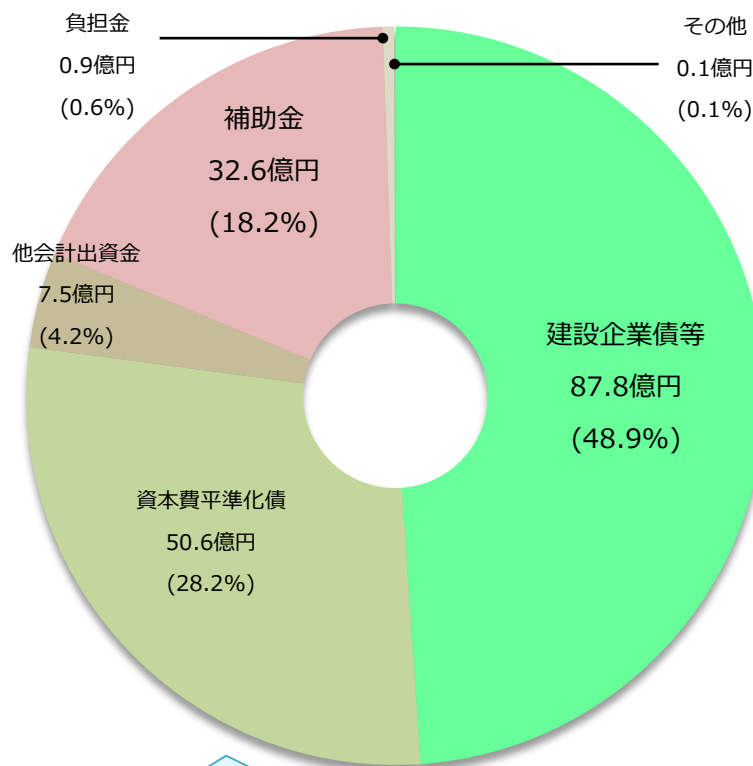
2 令和2年度予算 (2) 前年度予算との比較【収益的収入・支出】

(単位：百万円・税込)	R1予算額	R2予算額	増減額	増減率	主な増減要因
1 収益的収入（下水道事業収益）	30,299	30,633	+334	+1.1%	
（1）営業収益	22,753	22,760	+7	+0.03%	
①下水道使用料	14,573	14,575	+2	+0.01%	
②他会計負担金	8,121	8,124	+3	+0.03%	
③その他	59	61	+2	+3.3%	
（2）営業外収益	7,521	7,848	+327	+4.3%	退職手当の支給に係る一般会計からの繰入の減
①他会計補助金	252	183	▲69	▲27.4%	
②長期前受金戻入	7,222	7,624	+402	+5.6%	補助金等を取得財源とした資産の除却の増及び減価償却が終了した資産の増による収益化の増
③その他	47	41	▲6	▲12.8%	
（3）特別利益	25	25	+0	0.0%	
2 収益的支出（下水道事業費用）	29,305	29,625	+320	+1.1%	
（1）営業費用	24,913	25,814	+901	+3.6%	
①維持管理費	8,444	9,061	+617	+7.3%	処理場等の維持管理費の増及び流域下水道維持管理負担金の増
②減価償却費	15,747	16,056	+309	+2.0%	
③資産減耗費	722	697	▲25	▲3.5%	
（2）営業外費用	4,371	3,791	▲580	▲13.3%	
①支払利息	4,041	3,661	▲380	▲9.4%	高利率の企業債利息の減、発行額の減
②その他	330	130	▲200	▲60.6%	
（3）特別損失	11	10	+1	▲9.1%	消費税率の改定に伴う消費税納税額の増
（4）予備費	10	10	0	0.0%	

2 令和2年度予算 (3) 資本的収入・支出

金額は税込み

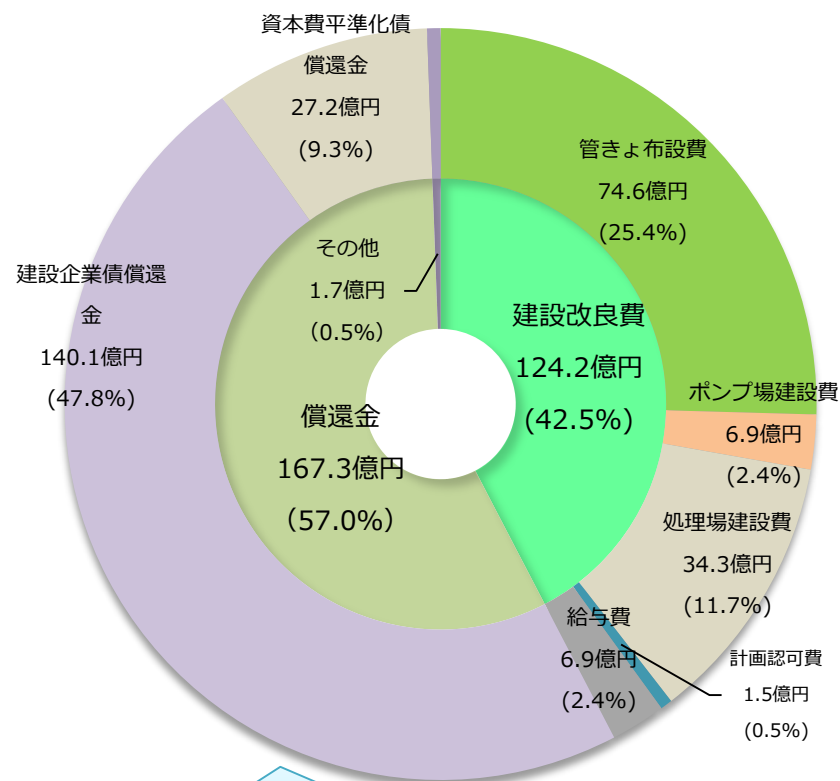
資本的収入 179.5億円



建設企業債（流域下水道負担金債含む）及び資本費平準化債138億4,200万円、国等からの補助金32億6,191万円、そのほか水洗便所普及事業収入などを加え、合計179億4,690万円となっています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額113億7,579万円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金等で補てんします。

資本的支出 293.2億円



建設改良費124億2,638万円、企業債償還金などの償還金167億2,832万円、そのほか施設利用負担金などの固定資産購入費や水洗便所普及事業費などを加え、合計293億2,269万円となっています。

2 令和2年度予算 (4) 前年度予算との比較【資本的収入・支出】

(単位：百万円・税込)	R1予算額	R2予算額	増減額	増減率	主な増減要因
1 資本的収入	13,409	17,947	+4,538	+33.8%	
(1) 企業債	10,797	13,842	+3,045	+28.2%	起債対象となる建設改良費の増
①建設企業債	5,787	8,675	+2,888	+49.9%	減価償却費と建設企業債元金償還金との差額の増
②流域下水道負担金債	37	102	+65	+175.7%	
③資本費平準化債	4,973	5,065	+92	+1.8%	出資金の対象である資本費平準化債の雨水分元金償還金の増
(2) 他会計出資金	670	748	+78	+11.6%	
(3) 補助金	1,845	3,262	+1,417	+76.8%	国庫補助金の増
(4) 負担金	87	87	0	0.0%	
(5) その他	10	8	▲2	▲20.0%	
2 資本的支出	24,474	29,323	+4,849	+19.8%	
(1) 建設改良費	8,162	12,426	+4,264	+52.2%	都、宮崎地区の雨水管渠工事や幸、大宮台、検見川地区の管更生及び耐震化工事による増
①管きょ布設費	3,976	7,458	+3,482	+87.6%	
②ポンプ場建設費	163	692	+529	+324.5%	長作、黒砂ポンプ場改築工事による増
③処理場建設費	3,216	3,431	+215	+6.7%	
④計画認可費	121	154	+33	+27.3%	
⑤給与費	686	691	+5	+0.7%	
(2) 固定資産購入費	91	153	+62	+68.1%	
(3) 償還金	16,205	16,728	+523	+3.2%	発行済の資本費平準化債元金償還額の増 資本費平準化債は令和9年度に償還のピークを迎える予定
①建設企業債償還金	13,808	14,014	+206	+1.5%	
②資本費平準化債償還金	2,397	2,714	+317	+13.2%	
(4) その他	16	16	0	0.0%	

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、補てん財源を使用

補てん財源：現金支出のない費用や減債積立金等による内部留保資金

3 予定財務状況 (1) 経営状況

令和2年度の経営状況等の見通し

()は前年度予算との増減

金額は税抜き

◆下水道使用料 **132.5億円** (1.2億円減)

有収水量 **96,080,769m³** (1,085,814m³減)

◆当年度純利益 **4.0億円** (2.3億円減)

減債積立金（企業債の償還財源）に積み立てます。

◆汚水処理費 **128.5億円** (1.1億円増)

汚水処理にかかった費用で、汚水処理に係る施設の維持管理費や減価償却費等の資本費です。

◆経費回収率 **103.1%** (1.8ポイント低下) ※高いほど良い

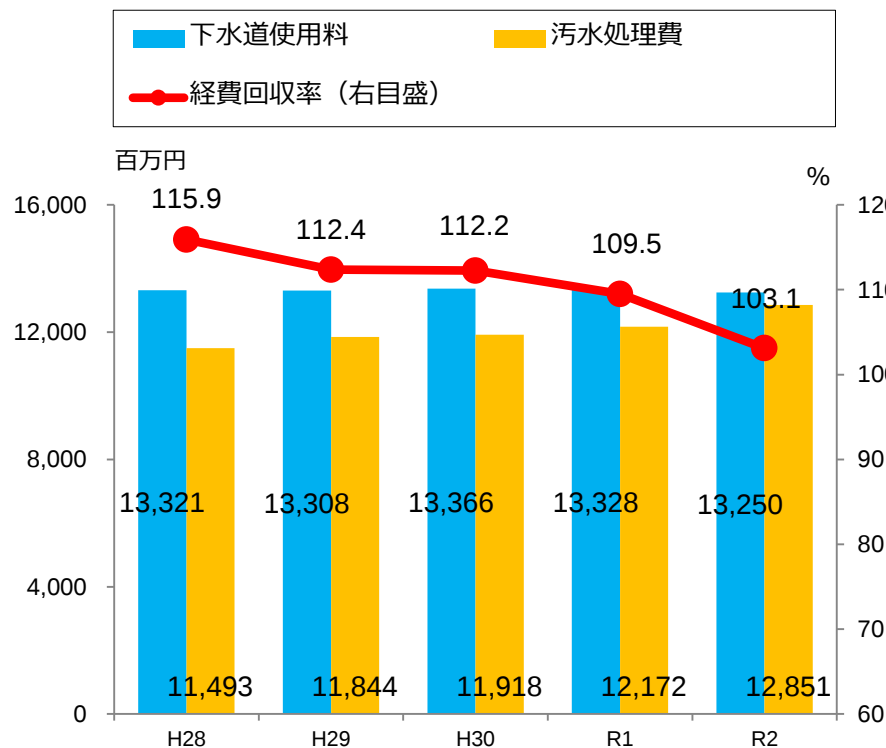
汚水処理費を下水道使用料でどの程度賄えているかを示した指標で、100%以上であれば下水道使用料で賄えていると言えます。

◆経常収支比率 **101.4%** (0.8ポイント低下) ※高いほど良い

維持管理費など毎年支出する経常的な費用を、下水道使用料など毎年収入する経常的な収益でどの程度賄えているかを示した指標で、100%以上であれば単年度収支は黒字となります。

R1まで決算値 R2は予算値

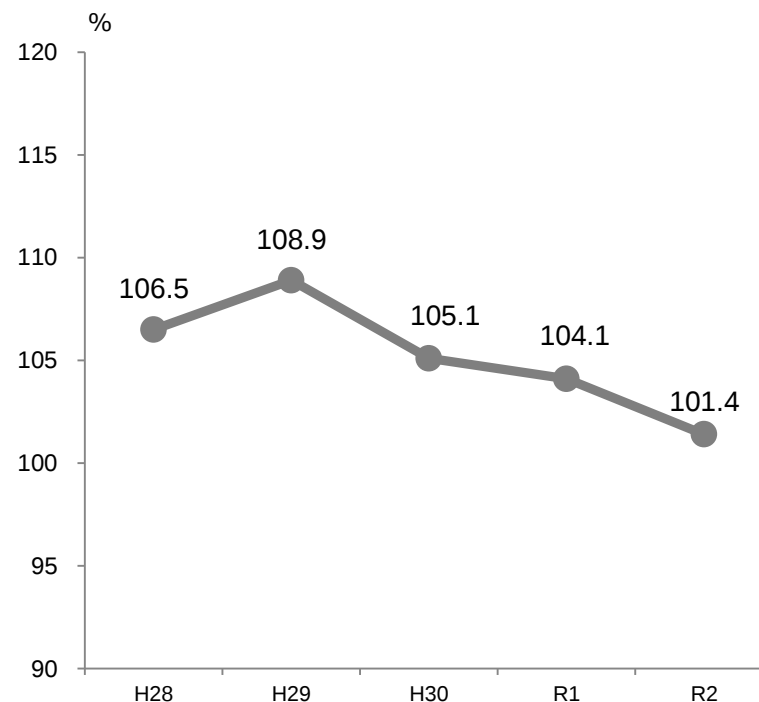
下水道使用料・汚水処理費・経費回収率



$$\text{経費回収率}(\%) = \text{下水道使用料} \div \text{汚水処理費} \times 100$$

(注)H29の下水道使用料は上下水道料金徴収一元化の関係で13か月分の調定のため、12か月分に換算

経常収支比率



$$\text{経常収支比率}(\%)$$

$$= (\text{営業収益} + \text{営業外収益}) \div (\text{営業費用} + \text{営業外費用}) \times 100$$

3 予定財務状況 (2) 予定損益計算書

(単位：百万円・税抜)	R1年度	R2年度	増減額	増減率
1. 営業収益	21,544	21,430	▲114	▲0.5%
2. 営業費用	24,306	25,096	+790	+3.2%
営業利益	▲ 2,762	▲ 3,666	▲904	(▲)32.7%
3. 営業外収益	7,523	7,850	+327	+4.3%
4. 営業外費用	4,137	3,789	▲348	▲8.4%
経常利益	624	395	▲229	▲36.7%
5. 特別利益	25	26	+1	+4.0%
6. 特別損失	21	21	0	0.0%
当年度純利益	628	400	▲228	▲36.3%
営業収支比率	88.6%	85.4%	▲3.2ポイント	
経常収支比率	102.2%	101.4%	▲0.8ポイント	

営業収支比率（％）＝営業収益÷営業費用×100

経常収支比率（％）＝（営業収益＋営業外収益）÷（営業費用＋営業外費用）×100

※特別損失は予備費10百万円を含む。

3 予定財務状況 (3) 予定貸借対照表（バランスシート）

(単位：百万円)		R1年度	R2年度	増減額
資産		465,044	462,695	▲2,349
	1. 固定資産	458,673	456,426	▲2,247
	2. 流動資産	6,371	6,269	▲102
負債		410,992	406,456	▲4,536
	3. 固定負債	216,625	213,045	▲3,580
	4. 流動負債	21,573	22,770	+1,197
	5. 繰延収益	172,794	170,641	▲2,153
資本		54,052	56,239	+2,187
	6. 資本金	31,612	33,786	+2,174
	7. 剰余金	22,440	22,453	+13
自己資本構成比率		48.8%	49.0%	+0.2ポイント

自己資本構成比率(%)= (資本金+剰余金+繰延収益) ÷ 負債資本合計×100

3 予定財務状況 (4) 予定キャッシュ・フロー (CF) 計算書

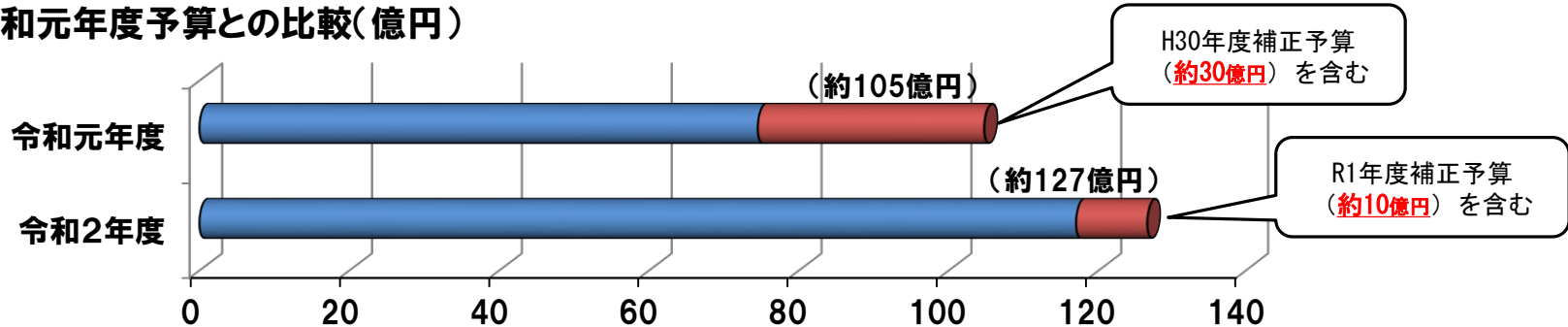
(単位：百万円)	R1年度	R2年度	増減額
1. 業務活動によるCF	9,886	9,723	▲163
2. 投資活動によるCF	▲10,000	▲9,064	+936
3. 財務活動によるCF	▲1,186	▲247	+939
資金増減額	▲1,300	412	+1,712
資金期首残高	5,426	3,285	▲2,141
資金期末残高	4,126	3,697	▲429

□ 令和2年度予算における重点事務事業 (1) 重点事務事業の予算

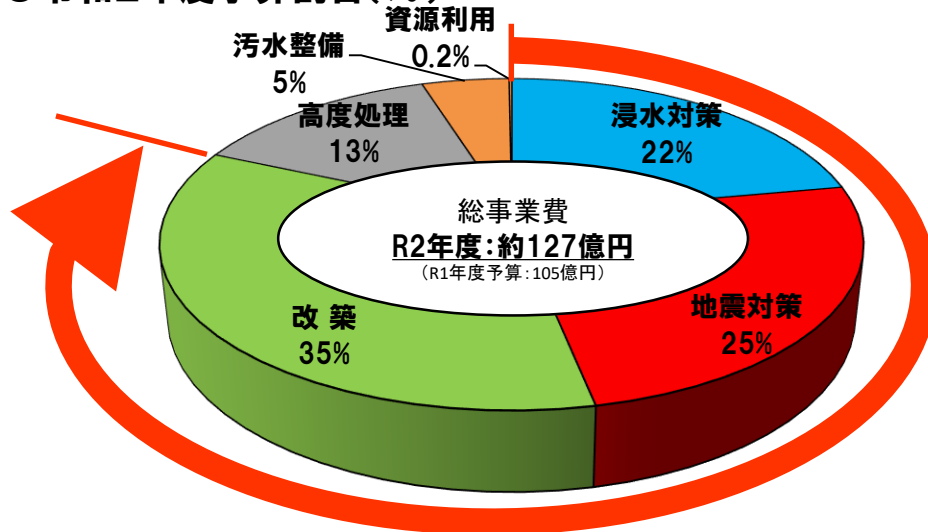
防災・減災事業を重点化！ ～安全・安心のまちづくりに向けて～

◆ 令和2年度予算と令和元年度予算との比較

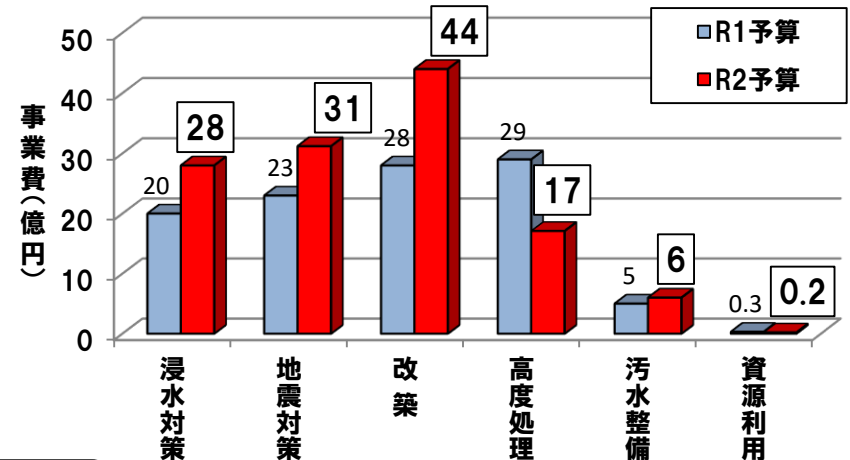
● 令和元年度予算との比較(億円)



● 令和2年度予算割合(%)



● 令和元年度予算との施策別比較(億円)



防災・減災事業が全体の**82%**(約103億円)

※高度処理は耐震化・老朽化対策も兼ねており、併せると全体の**95%**(約120億円)

□ 令和2年度予算における重点事務事業 (2) 主要事業の予算

◆ 主要事業

(1) 浸水被害の軽減と対策の強化 2,805百万円 R1補正:465百万円含む (R1:1,960百万円 前年比:143.0%)

- 局地的な大雨による浸水被害を軽減するため、千葉市雨水対策重点地区整備基本方針に基づき浸水リスクや都市機能の集積度が高い『重点地区』や、その他の『一般地区』において、地域の状況に応じた雨水管渠などの整備を進めます。
- さらに、令和元年10月25日大雨による浸水被害のあった地区の対策を進めます。
- 市民による防水板設置の費用の一部を引き続き助成します。

① 雨水整備(重点地区)

都町、宮崎 地下貯留施設
千葉駅東口再開発事業関連 80m

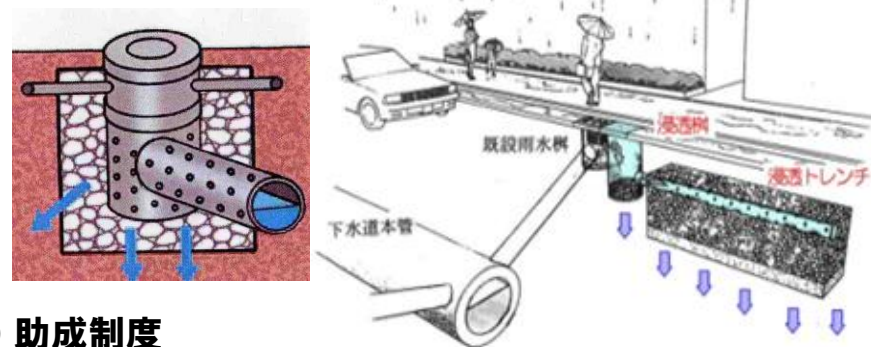
② 雨水整備(一般地区) 1,250m

稲荷町、幕張本郷 他9地区



③ 浸透施設整備

稲丘町、千草台 他2地区



④ 助成制度

防水板設置費用の一部を助成



ハード対策に加え、
ソフト対策も行っています

(2) 地震時における下水道機能の確保 3,113百万円 R1補正:491百万円含む (R1:2,281百万円 前年比:137.0%)

- 大規模地震発生時における下水道の機能を確保するため、下水道管渠の耐震化及びポンプ場の耐震診断を行います。
- マンホールトイレについては、平成29年度からプール水を使用した整備を行い、令和5年度までに170箇所の避難所である市立小・中学校などへの設置完了を目指します。
(平成28年度までは非常用井戸水を使用し、55箇所に設置完了)

① 下水道管渠の耐震化 12.3km

美浜区：稲毛海岸地区

中央区：弁天、末広 他2地区

花見川区：幕張、検見川 他2地区

稲毛区：轟地区

若葉区：みつわ台地区

- ・東日本大震災で被災した美浜区を重点的に整備
- ・液状化の危険性が高い地区を実施
- ・緊急輸送路下などの管渠を実施



東日本大震災における被災状況

② ポンプ場の耐震診断

ひび野ポンプ場

③ マンホールトイレの設置 20箇所(100基)



避難所でも安心して
トイレが使えます



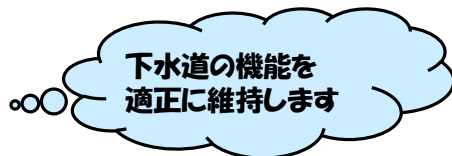
マンホールトイレ

(3) スtockマネジメントの推進 4,400百万円 (R1:2,782百万円 前年比:158.2%)

- 今後、急増する老朽化した施設に対して、施設のリスクや状態を評価・分析し、効果的な施設管理を行うため、平成30年3月に千葉市下水道Stockマネジメント計画(H30～R4)を策定しました。
- 今後、Stockマネジメント計画に基づき、適正に維持管理を行うとともに、老朽化した施設の改築を計画的に進め、より安定的な下水道サービスを提供していきます。

① 処理場・ポンプ場設備の改築

南部浄化センターの機械・電気設備
長作ポンプ場、黒砂ポンプ場、
高洲第一ポンプ場の機械・電気設備



(参考事例) 除塵機の改築

② 下水道管渠の改築 15.3km

中央区：市場町、中央港地区

若葉区：都賀の台、千城台、大宮台地区

美浜区：幸町、新港地区

道路陥没を未然に
防止します



道路陥没状況



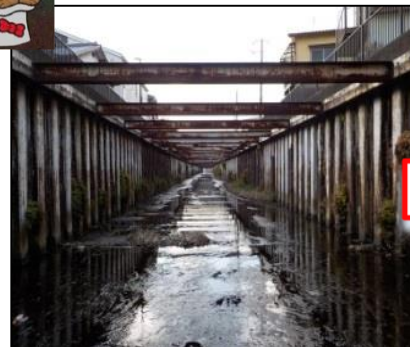
(参考事例) 管渠の改築



③ 下水道施設の適正な維持管理

マンホール蓋の更新 1,000個

草野みずのみち（護岸塗装） 150m



(参考事例) 護岸塗装



(4) 海辺の水質保全 1,707百万円 (R1:2,881百万円 前年比:59.3%)

- 東京湾の水質保全と、良好な水環境を整えるため、東京湾で発生する赤潮・青潮の発生要因の一つである窒素・リンを除去できる高度処理施設の整備を中央浄化センターで行います。

中央浄化センター水処理施設機械・電気設備工事 (令和元年度～2年度継続工事)

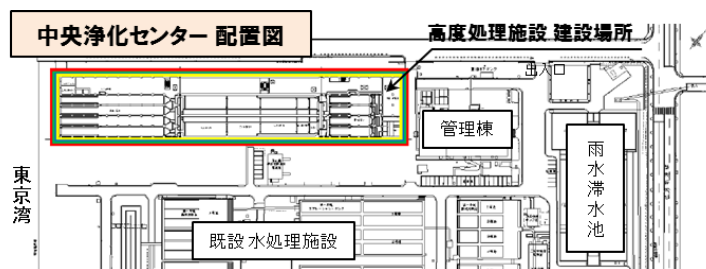
中央浄化センター塩素混和池建設工事 (令和元年度～2年度継続工事)

中央浄化センター送風機機械設備工事 (令和元年度～2年度継続工事)



赤潮(左)・青潮(右)状況写真

★令和3年度～ 供用開始を目指します。



(5) 下水道未普及地域の解消 607百万円 (R1:543百万円 前年比:111.9%)

汚水整備 7.0ha

幕張地区 他13地区

(6) 下水道における資源・エネルギー循環の形成 25百万円 (R1:28百万円 前年比:89.2%)

下水処理過程から発生する汚泥などをエネルギーとして利活用するための検討 他

Memo



イメージキャラクター
「カワウソ一家」
左上：アクア（パパ）
右上：クリーン（ママ）
中央下：かわちゃん（女の子）